

製品名: DNA pol λ ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10064**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	63kDa

抗原情報

遺伝子名	POLL
別名	POLL; DNA polymerase lambda; Pol Lambda; DNA polymerase beta-2; Pol beta2; DNA polymerase kappa
遺伝子 ID	27343.0
SwissProt ID	Q9UGP5
免疫原	抗血清はヒト DNA ポリメラーゼラムダ由来の合成ペプチドに対して産生された。アミノ酸範囲: 451-500

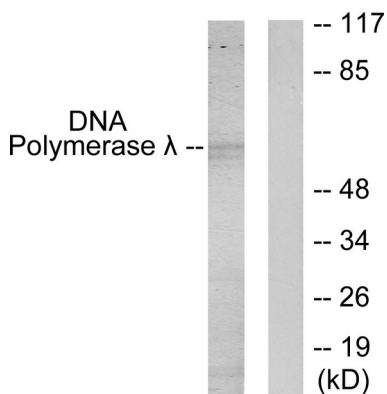
背景

この遺伝子は DNA ポリメラーゼをコードします。DNA ポリメラーゼは、DNA テンプレートを標的とした DNA 鎖 3' 末端の伸長を触媒します。このポリメラーゼは X ファミリーの DNA ポリメラーゼに属し、非相同末端結合やその他の DNA 修復プロセスにおいて役割を果たしていると考えられます。選択的スプライシングを受けた転写産物バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2010 年 3 月]、触媒活性: デオキシヌクレオシド三リン酸 + DNA(n) = ニリン酸 + DNA(n+1)、補因子: マンガン、機能: 修復ポリメラーゼ。塩基除去修復 (BER) に関与し、DNA の脱塩基 (AP) 部位を生じる損傷の修復を担います。DNA ポリメラーゼ活性と末端転移酵素活性の両方を有します。5'-デオキシリボース-5-リン酸リアーゼ (dRP リアーゼ) 活性を有する。PTM: DNA 損傷時にリン酸化される。おそらく ATM または ATR による。類似性: DNA ポリメラーゼ X ファミリーに属する。類似性: 1 つの BRCT ドメインを含む。サブユニット: PCNA に結合する。組織特異性: 多くの組織で発現する。精巣に豊富に分布する。

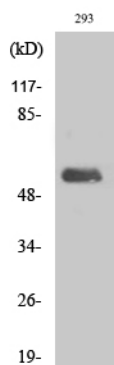
研究分野

塩基除去修復,非相同末端結合;

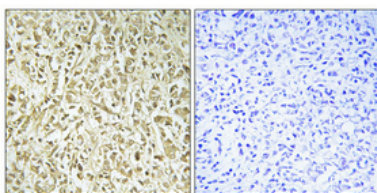
画像データ



DNA ポリメラーゼ λ 抗体を用いた 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



DNA pol λ ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。



パラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。